

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。

白球の行方に一喜一憂（8月28日）

町教育委員会などが主催する「第33回町民ソフトボール大会」が町営湖畔野球場や山村広場、南富良野高等学校グラウンドを会場に行われ、地域や職場などで編成された11チーム（148名）が参加し、熱戦が繰り広げられました。

チーム編成は中学生以上で、女性又は50歳以上の男性が常時2名以上参加することになっていることから、年一回の大会に往年の時代を思わせる好プレーや迷プレーを披露し、晴天のもと世代間交流を図りながら汗を流しました。

○試合結果

優勝 大乘会
準優勝 しもきんぼーるず
第3位 シレラA



心に響く弦の音色（8月31日）

町内の小学生を対象として、町教育委員会が主催する舞台芸術公演がこのほど幾寅小学校体育館で行われました。今年は、札幌の「なおこBAND」による琴（13弦と17弦）とフォークギター（6弦）、アフリカの民族楽器の太鼓を使い、子どもたちが歌ったり手拍子をたたき出すようななじみのある音楽15曲が披露され、生の演奏を堪能しました。

演奏終了後には、子どもたちが琴を弾く体験が行われ、普段触れる機会の少ない日本の伝統楽器を体感し、琴の美しい音色を楽しんでいました。



ふらびズムイベント ネイチャーギャザリング開催（8月20・21日）

北海道上川総合振興局の委託事業としてラジオふらのが主催する「ふらびズム第4回イベント～ネイチャーギャザリング」に富良野沿線をはじめ福島県や神奈川県などから40名の家族が、かなやま湖スポーツ研修センターに集いました。

この「ふらびズム」は移住や定住をテーマに美瑛から占冠までの6つの市町村の情報発信を行っているもので、この日は、カヌー体験や自然探索が行われたほか、26年前に本町落合に移住されたどんごころ野外学校目黒義重理事長が講師を務め、道内でラフティングをはじめた先駆者として年々仲間を増やしながら、自然の中で生活してきた実体験などが話されました。



「上川南部PTA連合会母親研修会・研究大会」開催（8月27日）

上川南部PTA連合会（上川町から占冠村までの11市町村の小・中学校PTAと関係者で構成）が主催する母親研修会と研究大会が、本町の南富良野中学校を会場に開催され約350名が集いました。この研修会は、輪番により毎年開催されています。今年は、北海道教育大学札幌校准教授の平野直己氏の講演と7つの分科会が行われ、PTAの今日的課題を通じた活動のあり方や情報交換を行い、会員相互の交流を深めていました。

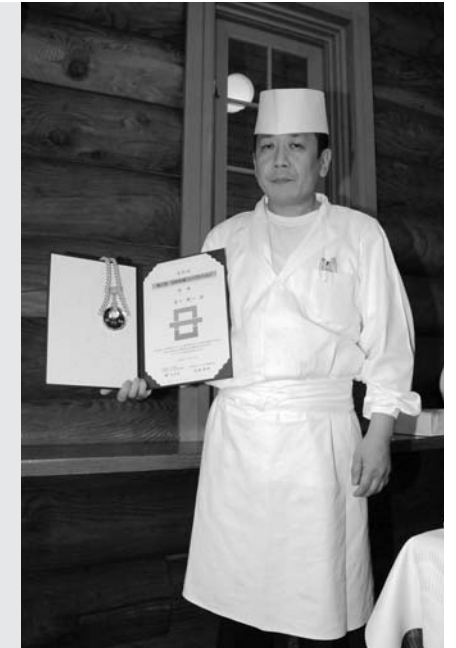
ログホテルラーチ 昼八成一調理係長 北海道代表に輝く（8月27日）

かなやま湖ログホテルラーチに勤務する昼八成一調理係長が、このほど8月27日に札幌で開催された「第3回日本料理コンペティション北海道地区予選大会」に出場し、見事優勝を果たし、北海道代表として来年2月19日に京都で開催される全国大会の切符を手に入れました。

この大会は、日本料理アカデミーが日本の調理師の知識や技術、資質の向上や日本料理の新しい価値創造への貢献を目的に開催されています。

昼八調理係長は、和食専門の料理人として平成13年からラーチに勤務する傍ら、豊島総料理長の下において、和食と洋食の調和や共通点を探求し、技術を磨かれました。

今回の受賞に昼八さんは「正直、私自身受賞や周囲の反響に大変驚いています。電話により是非和食を食べさせて欲しいとの問い合わせが多いのですが、ラーチではメニューをご用意していないので、お断りしているところです。全国大会では、南富良野町やラーチのPRができるよう頑張ります」と話されました。



カヌーで急流に挑む（8月21日）

第16回カナディアンカヌースラローム選手権大会が落合空知川特設会場で、地元や旭川、札幌や釧路などの愛好者ら延べ43名が参加し行われました。この大会は釧路近郊のカヌー愛好者が中心となり実行委員会を組織し、南富良野町を会場に開かれている大会で、競技はカナディアンカヌー（オープンデッキ）を使用し、一人乗りと二人乗りの種目でそれぞれ順位を競い合いました。この日は水量が多く、急流で難所となったゲートもあり、アップゲート（下流からゲートを通る）では、不通過でペナルティポイントをもたらす選手が続出するなど、高度で正確なパドル操作を要するコースに選手の皆さんは果敢に挑んでいました。



カヌーから学ぶ 南富良野の自然（8月18日）

北落合・落合・下金山小学校の3校合同による自然体験学習として、全児童によるカヌー体験学習が、かなやま湖で行われました。自然体験学習は北落合・落合小学校が合同でカヌー体験と犬ぞり体験を隔年で実施しており、今年の下金山小学校も加わりました。低学年はカナディアンカヌーに乗り、4～6年生は、一人乗りのカヤック艇にも挑戦。左右の力の加減でくるくる回ってしまったりカヤック艇を上手に操っていました。

児童の皆さんは、湖上からしか見ることでできない景色から地域の自然環境の大切さなどを感じながらカヌーを楽しんでいました。

